

DRUG

INFORMATION



2016 No. 22

平成28年4月25日発行

ソリタ製剤のバッグ製剤への切替について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

ソリタ製剤のバッグ製剤への切替について

本院ではソリタ製剤として、維持液の「ソリターT3 号輸液 200mL」および高張維持液の「ソリタックスーH 輸液 500mL」を採用しております。この度、両製剤とも、従来のボトル製剤からバッグ製剤に変更すると製薬メーカーより連絡が入りました。つきましては、本院におきましてもバッグ製剤へ切替を行うことと致します。

新製剤は**スタンディングバッグ**という容器を採用しており、バッグ製剤でありながら自立性を有していることから、①視認性が高い、②整理・運搬が容易、③滴下速度が一定、④廃棄が容易、などの特徴を有する製剤です(下記図参照)。

	旧製剤 (ボトル製剤)	新製剤 (スタンディングバッグ製剤)
ソリターT3 号 輸液 200mL		
ソリタックスーH 輸液 500mL		

オーダー時における薬品名称は、従来通りの「ソリターT3 号輸液 200mL」「ソリタックスーH 輸液 500mL」とさせていただきますが、単位を「本」から「袋」へ切り替える必要があることから、既存の処方を使用することは出来ません(DO オーダは出来ません)。つきましては、切替後は再処方を含め、薬品名を最初から入力して頂きますようお願い致します。

バッグ製剤への切替は、各ボトル製剤の在庫がなくなり次第と致します。詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：安田)